

# 「女子中高生夏の学校 2011」参加報告

Report on participation in the summer school for high and junior high school girls 2011

工藤 里絵 (くどう りえ)

男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会幹事, (財)日本建設情報総合センター

## 1. はじめに

地盤工学会は、地盤工学に携わる女性技術者の増加を目指し、男女共同参画・ダイバーシティの推進に力を入れている。その活動の一環として、男女共同参画・ダイバーシティ委員会の浅田素之委員(清水建設)、山口恵美委員(関東学院大学)、そして筆者の3名が、2011年8月18日、「女子中高生夏の学校 2011～科学・技術者のたまごたちへ～ Part1:今、私たちにできること」<sup>1)</sup>(以下、「夏学」)に参加した。

「夏学」は、女子中高生とその保護者・教員が、理工学系の学会や大学、企業が提供する実験やポスターセッションなどを通じて、理系進路選択の魅力を知るための催しである。2005年度より毎年、国立女性教育会館にて2泊3日のスケジュールで開催されてきたが、今年は、東日本大震災の影響で、いったんは開催が見送られた。しかし、過去の「夏学」を卒業し、理工系大学・大学院に進学した女子学生達の「今だからこそ開催したい」という熱意の元、岡村美好氏(「夏学」実行委員長、土木学会教育企画・人材育成委員会ダイバーシティ推進小委員会委員長)の発案で、土木学会講堂にて日帰りの開催となった。

## 2. 参加内容

地盤工学会は、2009年度から引き続き3回目の参加である。山口委員が、キャリア講演「ちょっと先輩たちからのメッセージ」で地盤工学の魅力について講演するとともに、土木学会・地盤工学会共同ポスターブースにてキャリア相談やデモ実験、展示、資料配付を行った。我々のブースで特に好評だったのは、手回し式携帯振動

台「手回しぶるる」、木造住宅倒壊模型「ピノキオぶるる」、H23 東北地方太平洋沖地震災害写真集、山口委員作成の一般市民向け液状化解説リーフレットである。貴重な災害写真集を提供くださった基礎地盤コンサルタンツ(株)、そして、我々の企画に深い理解を示し、2009年度の「夏学」に引き続き、「ぶるるシリーズ」を無償で貸し出し、説明員を派遣して下さった応用地震計測(株)に、この場を借りてお礼申し上げたい。

東日本大震災を受け、地震や地震災害への関心が高い参加者が多く、我々のブースにはたくさんの方が訪れた。女子中高生からは、『液状化ってどうして起こるの? どうすれば防げるの?』『地盤の危ないところはどしたらわかるの?』『危ない地盤の情報はどこで手にはいるの?』等、素朴で鋭い質問が寄せられた。毎年「夏学」に参加する度に、専門知識のない人々に地盤工学を分かり易く伝えることの難しさを痛感する次第である。

## 3. 今後に向けて

「夏学」に参加した3年間を通し、数多くの女子中高生と交流したが、地盤工学の認知度は非常に低い。我々は、一般の人々や、将来を担う子供達に対し、地盤工学の必要性和魅力を伝える努力をするべきであろう。当委員会では、今後もこのような催しに積極的に参加する予定である。是非、会員の方々の理解と協力を仰ぎたく、「夏学」に貸し出し可能な模型や実験装置、あるいは、中高生に地盤工学の魅力を伝える良いアイデア等がありましたら、当委員会にご一報願いたい。

参 考

1)女子中高生夏の学校2011開催概要

<http://committees.jsce.or.jp/education03/natsugaku2011>



写真-1 中高生に説明する浅田委員



写真-2 大好評だった「ピノキオぶるる」

## キャリア講演2

山口恵美 関東学院大学大学院工学研究科土木工学専攻 地盤防災工学研究室 博士後期課程2年

8月18日(木) 10:00~10:30

皆さんは「理系」と聞いてどんなイメージを持っていますか? 「理系の世界は、人間が生きていくために、そして経済活動をしていく上で絶対に必要なものを計画して構築するのが仕事。そして、そのなかで文系の人たちが世の中をうまく動かしている」私はそう思っています。どちらも重要な役目だし、やりがいのある仕事だと思います。では、なぜ私は理系を選んだのか。それは、あまり目立たないかもしれないけど、様々な技術の基礎を身につけて、縁の下の力持ちとして日本を支えてゆく技術者の一員になりたいと思ったからです。



宮城県の女川町へ調査に向かう朝、仙台のホテルにて

私は小さい頃から、土木業を営んでいたお父さんの姿を見て、「土木の道を進みたい」と思っていました。その当時はまだまだ漠然としたものでした。でも、今は予定通り(?) 土木を勉強しています。ただ、ここまで来るのに、ちょっと寄り道したこともあります。でも、ちょっとの寄り道も無駄ではなかったし、いい経験となりました。人生どんな出会いがあるかは、分かりません。ただ、ちょっとしたきっかけを見つけられるかどうか、そういった目を持っているかどうか重要です。進路選択をする時に、周りの意見も大切かもしれませんが、自分の直感を信じてみるのもいいですよ! あとは、自分のやる気次第!!

今日は皆さんに、私がどんな人生を歩んで現在に至ったのか、そして今はどんなことを勉強しているのかについて、知っていただこうと思います。そして1人でも多くの人に、土木に興味をもってもらえると嬉しいです!!

### 【プロフィール】

1985年、長野県の<sup>きなき</sup>鬼無里というところ(今は、平成の大合併によって長野市となる)に生まれる。小・中学校は村立の学校へ。高校は長野工業高校の環境システム科に入学。大学への進学はあまり考えていなかったが、いろんな縁があって、関東学院大学の社会環境システム学科(旧土木工学科)に入学。大学の授業で「液状化現象」と出会い、地盤の分野に興味をもつ。なんとか希望通りの研究室に入りたかったので、いろいろと頑張り、3年の夏休み明けに、希望通りの「地盤防災工学研究室」に配属が決まる。研究が始まってから楽しくなってしまう、ずるずると進学をした結果、現在に至る25歳です……。

趣味は手芸(編み物・ヘンプアクセサリー・シルバーアクセサリー)、料理など、意外と女の子らしい感じ。気分転換やストレス発散方法としては、ピアノ(今はアパートにあるキーボード)をひいたり、めったに作らないような手の込んだ料理を2時間くらいかけて作る。あとは、LadyGagaの動画をYouTubeやニコニコ動画でひたすら見る。もちろん、ヘッドフォン着用、爆音で!!